

第3学年 体育科学習指導案

1. 単元名 組み合わせランド(A体づくり運動 イ多様な動きをつくる運動)

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

体のバランスをとったり移動をしたりする動きや、用具を操作したり力試しをしたりする運動を通して、体の基本的な動きを組み合わせた動きをすることが、楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性(児童の実態を含む)

- ・体づくりの運動遊びは、2年生のときに学習しており、ボールとフープを使った経験をしている。
- ・ボールでは、「投げる、当てる、落とす」、「捕る、受ける」、「転がす」、「つく、はずませる」。フープでは、「投げる、当てる、落とす」、「捕る、受ける」、「転がす」、「まわる、回転する」、「くぐる、入り込む」、「持つ、つかむ、にぎる」、「運ぶ」といった経験がある。
- ・事前アンケートでは、全員が体を動かすことが「楽しい」「まあまあ楽しい」と答えている。しかしながら、体育の授業で困っていることや不安なことはないかと問うと、「ずるをする友達がいる。」「暴れる友達がいる。」「優しい声をかけてほしい。」といった意見がでてきた。これまでの体育の授業の様子でも、活動には意欲的な児童が多いが、競争になるとルールを守れず注意されたり、勝敗にこだわり過ぎて動きや言葉が荒く雑になったりする児童が数名見られる。
- ・休み時間には、運動場でサッカーや二里小タワーで遊ぶ児童が多い。自主的に運動を楽しむ児童の様子が見られる。一方、教室の中で多くの時間を過ごしている児童もあり、学級の中でも運動習慣の二極化が見られる。

3. 教師の授業への意図

- ・これまでの体育の授業や休み時間に遊んでいる姿から、児童は進んで運動に取り組む様子が見られるため、本単元では「基本的な動きを組み合わせる運動」を積極的に取り入れていく。「用具操作+バランス・移動」で組み合わせの運動を行う。自分がやりたい動きや場、用具、人数を選ばせることで主体的に活動できるようにする。
- ・3年時に基本的な動きの組み合わせを選ぶ経験をする中で、4年時はさらに組み合わせを工夫することを考えさせたい。
- ・選んだ動きができるようになるための十分な活動時間の確保をする。組み合わせの動きでは、あまり難しい動きを取り上げず誰もができそうな動きから取り上げる。新たな動きに興味をもったり、児童の意欲をかきたてたりしながら、夢中になって取り組むうちに結果として動きが身に付いていくようにする。
- ・用具ではフープ、ボール、なわ、ぼうを用いる。ぼうの経験がこれまでなかったため、ぼうを操作する時間を1時間確保する。基本的な動きを身に付けたり、できる動きを増やしたり工夫したりすることで、組み合わせの時間につなげる。
- ・学習カードで動きを例示したり、友達の動きを真似たりすることで運動が得意ではない児童も運動に取り組みやすくする。一つ一つできるようになった動きにシールを貼ることで活動に意欲的に取り組むことができるようにするとともに、競争や勝敗とは違った運動への達成感を味わわせたい。

4. 単元目標

自分のやりたい動きに合った場や用具を選び、組み合わせの運動を楽しむ。

5. 評価規準(※番号は、単元全体を通した評価規準表に準ずる)

	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習活動に即した 評価規準	②多様な動きをつくる運動の行い方を知っている。	③姿勢や方向、人数を変えて体のバランスをとる動きが安定してできる。 ④姿勢や方向、速さ、リズムなどを変えて、体を移動する動きがなめらかにできる。 ⑤用具を操作し、用具に合わせた動きが調子よくできる。	③多様な動きをつくる運動の動き方のポイントや動きのこつを見付けている。 ④多様な動きをつくる運動の、友達のよい動き方を見付け、自分の動きに取り入れている。 ⑤多様な動きをつくる運動の基本的な動きの組み合わせを選んでいいる。 ⑦運動の仕方、動きのこつ、友達のよさなど考えたことを、友達に伝えている。	①体づくり運動に進んで取り組もうとしている。 ②用具の使い方や運動の行い方のきまりを守ろうとしている。 ③友達と協力して、用具の準備や後片付けをしようとしている。 ④運動する場や用具の使い方などの安全を確かめている。

6. 2学期単元・評価計画

学期	2学期						
時数	1	2	3	4	⑤	6	
運動	用具を操作する運動(ぼう)	基本的な動きを組み合わせる運動					
		ぼう	なわ	フープ	ボール		
	+ バランス・移動する運動						
知識・技能	⑤ (観察・学習カード)	② (観察・学習カード)		③・④ (観察)			
思考・判断・表現			③・⑤ (観察・学習カード)			④・⑦ (観察・学習カード)	
主体的に学習に取り組む態度		②・③・④ (観察)			① (観察・学習カード)		

7. 本時の指導(5/6)

(1) 本時の指導目標

めあてをもち、自分がやりたい動きに向かって運動に取り組み、友達と仲良く活動する。

(2) 本時の展開

学習活動と児童の反応(●)	教師の働きかけ(○)と形成的評価(◆)
<p>1. 学習の準備をする。(5分) ○用具と場の準備をする。</p> <p>2. 本時の学習内容を確認する。(5分) ○学習の見通しを持つ。</p>	<p>○子どもが主体となって、安全に活動の準備ができるようにする。</p> <p>○学習のめあての確認をさせる。(ボールと場を使ってどんな動きをして楽しみたいか。)</p>
<p>ボールを操作しながら、ふらふらアトラクションにチャレンジしてできることを増やそう。</p>	
<p>○ボールや場を使うときの約束を確認する。 ・ボールや場の使い方について、質問したり友達と確認したりする。</p> <p>3. 基本的な動きを組み合わせる運動をする。(25分) ○運動をやってみる。 (ボール) ・つく ・なげる ・受ける ・転がす ・運ぶ ・蹴る ・はずませる (平均台) ・バランスをとる ・登る ・降りる (跳び箱, ロイター板, カラーパット, トランポリン) ・跳ぶ ・飛び越す ・飛び跳ねる ・登る ・降りる ・踏みつける ・走る</p> <p>・ボールを操作しながら(操作してから)移動する, バランスをとるなどの運動をする。 ・自分がやりたい動きに合った用具や人数, 場で, 運動する。 ・友達と動きを見せ合ったり, 運動を一緒に楽しんだりする。 ・互いが安全に運動できるように動いたり, 譲り合ったりする。 ・動きを組み合わせることができたらシールを貼る。</p> <p>・組み合わせた動きを紹介する。 ・困ったことがあれば伝える。</p>	<p>○みんなが安全に運動できるようにするためにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>○場の設定や用具の使い方を観察し, 安全に活動ができるように促す。 ○身に付いた動きを組み合わせることで運動がもっと楽しくなることを伝える。</p> <p>◆ 自分のめあてに向かって動きを組み合わせる運動に取り組み, 友達と仲良く運動を楽しんでいるか。【主体的に学習に取り組む態度】 (観察・学習カード)</p> <p>A めあてに向かって運動に取り組み, 友達と仲良く運動を楽しんでいる。(3つ以上) B めあてに向かって運動に取り組み, 友達と仲良く運動を楽しんでいる。(1つ) →取り組みそうな他の動きに取り組みさせる。 C ボールを操作できず, 運動を楽しめていない。 (0こ) →ボールの種類や大きさを変えて操作しやすくする。周りの友達の真似をさせてみたり, 教師と一緒に運動したりして意欲を高める。</p> <p>○単調な動きを繰り返している子どもがいれば, 意図を尋ね, 挑戦してみたい動きに意欲的に取り組むように促す。 ○活動が停滞していれば, 動きのレパートリーやバリエーションが広がる動きや新たな動きを紹介させることで, 子どもの意欲をかき立て, さらに運動に進んで取り組むことができるようにする。</p>

<p>4. 学習の片付けをする。 (5分) ○用具と場の片付けをする。</p>	<p>○子どもが主体となって、安全に活動の片付けができるようにする。</p>
<p>5. 学習のまとめをする。 (5分) ○全体で学習を振り返る。 ・学習カードに振り返りを書く。 ・楽しかったこと、できたことなどを発表する。</p>	<p>○子ども自らの気づきを大切にして、学習の振り返りが進むよう促す。見つけたよい動きやコツをまとめ、全体へ広められるようにする。</p>